

【説明資料】 発明・工夫作品コンテスト 製作の動機または目的、利用方法、作品自体やその製作過程で工夫したことを、文章、写真、図などで説明。この用紙1枚に記入し、PDFファイルに変換した後、ホームページに貼り付けてください。

学校名	弘前大学	個人・グループ名	山崎総一郎	作品名	スロープ
-----	------	----------	-------	-----	------

○製作の動機

校舎から外に出る際に階段があるのだが、大きな荷物を運び出す際に台車で通ることが出来ず、それまでは台車ごと階段を降りなければならなかった。しかし、腰を痛める恐れがあるうえ、持ち運んでいる際に荷物が落下してしまうことがよくあった。スロープがあれば安全に、楽に運ぶことが可能になる。そこで、スロープをつくることを決意した。



○利用方法

- ・台車を運ぶ際に利用する
- ・車いす利用者が校舎内に入る際に利用する



○工夫したポイント

- ①台車が走行中にスロープから落ちないように、スロープの淵に幅20mm、厚さ15mmの木材を取り付けた。
- ②重い荷重にも耐えられるうえ、持ち運びが楽になるようになるべく軽くつくった。
- ③角度を計算し、くるいのないように切断して、組み立てた。



○製作を終えて

・スロープが出来てから早くも一年半が経つが、どこも壊れることなく多くの人々に使われ、愛されている。ときには200kgを超える重い荷物を運ぶこともあるが、しっかりと役割を果たし、今日もたくさんの人の荷物運びをサポートしている。(※写真④)

